

2024_1227「ユール・ノルシェン／Jul Norrsken (写真)」日々の理科 3795号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

スウェーデン語でクリスマスは「ユール／Jul」、オーロラを「ノルシェン／Noerrskén」といいます。クリスマス頃の現地北極圏は、一年でも最も夜が長い季節で、晴れさえすればほぼ100%オーロラが現れます。午後5時頃から北の空に「淡い緑色の虹のような」オーロラが出現し、それが次第に濃く明るくなって、やがて、空一杯の緑のカーテンに成長します。

12月24日の晩も、北カメラがすばらしいオーロラをとらえていました。この日は駅舎脇のユースに宿泊客が多かったようで、凍った湖畔でオーロラを観望する人々の姿も写っていました。来年は是非とも現地に行きたいと思っています。

(2024年12月24日／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス／東京から遠隔観測)

